

小川町では「小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略(H28.3)」において、有機農業を活用した雇用の創出やより一層の町の魅力向上を目指すこととしております。その原動力となっている下里地区は、2010年11月の農林水産祭「むらづくり部門」で天皇杯を受賞した有機農業集落です。また、2014年11月には、天皇皇后両陛下が行幸啓され、有機農業の取組をご視察されました。その下里地区の中でも旧下里分校は、有機農業の魅力を発信する中心拠点として将来にわたり活用が見込まれており、隣接する水辺空間との一体的な整備により、のどかでありながら他に類を見ない町の魅力を強力に発信していく中心拠点としてより一層の活用が期待されます。

本提案では、槻川河川敷を整備することにより、観光ルート及びイベント広場等幅広く利活用できる空間を創出します。さらに、水辺再生100プラン及び川のまるごと再生プロジェクトで整備された遊歩道との連携を強化し、町全体の回遊性を高めるなかで、槻川周辺の豊かな自然や近隣の観光施設との相乗効果により、多くの観光客を誘致し、魅力あふれる有機によるまちづくりを推進します。

取組のイメージ図



計画等の位置付け

■小川町第5次総合振興計画(H28. 3)
基本構想における土地利用構想図のなかで、下里地区は多くの地域資源の活用が見込まれ、観光ゾーンとし位置づけられています。また、河川敷の整備により親水空間を創出することとしています。

■小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略
有機農業は雇用の創出や魅力あるまちづくりの推進として、総合戦略の根幹を為すものとして位置づけられています。その魅力の発信拠点となる施設を水辺空間と一体として整備することにより、魅力を倍増させる効果が期待されます。

目標・成果指標

■清流の恩恵に触れる

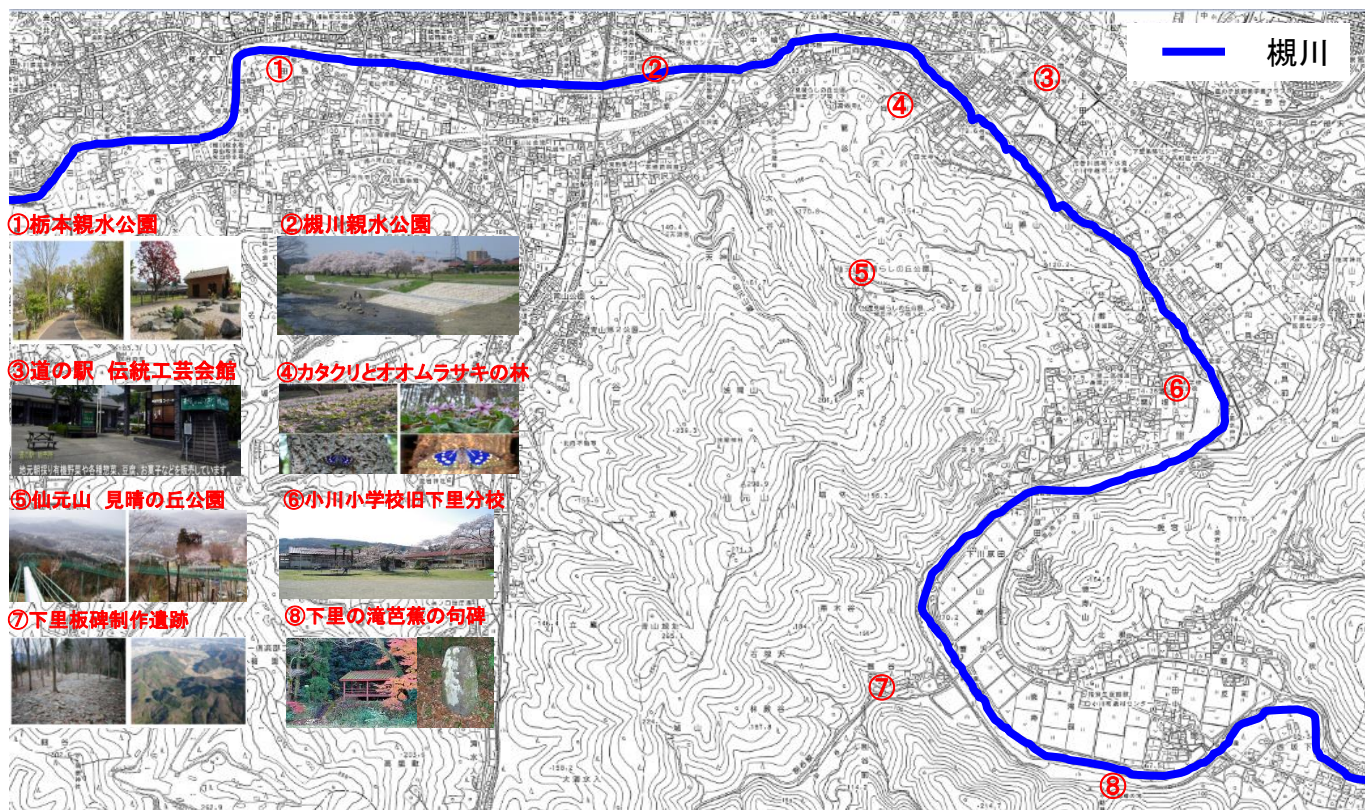
・町民、観光客がノスタルジックな旧下里分校を中心に広がる有機の里の土や水に気軽にふれあい、水の恵みを受け育まれた和紙のふるさと小川町を満喫できるルート整備を行い、町の観光拠点の埼玉伝統工芸会館周辺の観光資源を活用して、賑わいを創出します。

■旧下里分校の魅力度アップ

・体験型イベントの充実により観光客の増加を図ります。

成果指標	現在	整備後
紙すき体験者数	16,876/年	18,000人/年
有機農産物収穫祭イベント	—	300人/回

位置図



川の状況

■ 町内の槻川は延長11.1km
(うち改修済み延長0.8km)

■ 活動団体 16団体
(うち川の国産援団の登録15団体
槻川:13団体、兜川:2団体)

■ 川の特徴

・沿川には2つの親水公園が隣接し、地元のお祭りやカヌー体験などが催されている。

・H26年度に世界無形文化遺産登録された細川紙などの伝統工芸品が展示されている道の駅も隣接している。

■ 過去の事業

・水辺再生100プラン

遊歩道の整備:延長約900m

・川のまるごと再生プロジェクト

遊歩道の整備外:延長約2.1km

まちの状況

■ 地域資源・観光資源

・小川小学校旧下里分校はNPO団体管理のもと、貴重な地域資源として保存されている。

・槻川は仙元山のすぐ脇を流れ、見晴の丘公園やカタクリとニリンソウの里、オオムラサキの林等の山の自然も一緒に味わえるのが醍醐味である。

・ユネスコ無形文化遺産に登録された細川紙や、地酒(3つの酒造)も貴重な観光資源となっている。

・下里の滝芭蕉の句碑や国指定の下里・青山板碑制作遺跡も貴重な文化財として保存活用に努めています。

■ 課題

・年間を通じた集客力を持つこと。

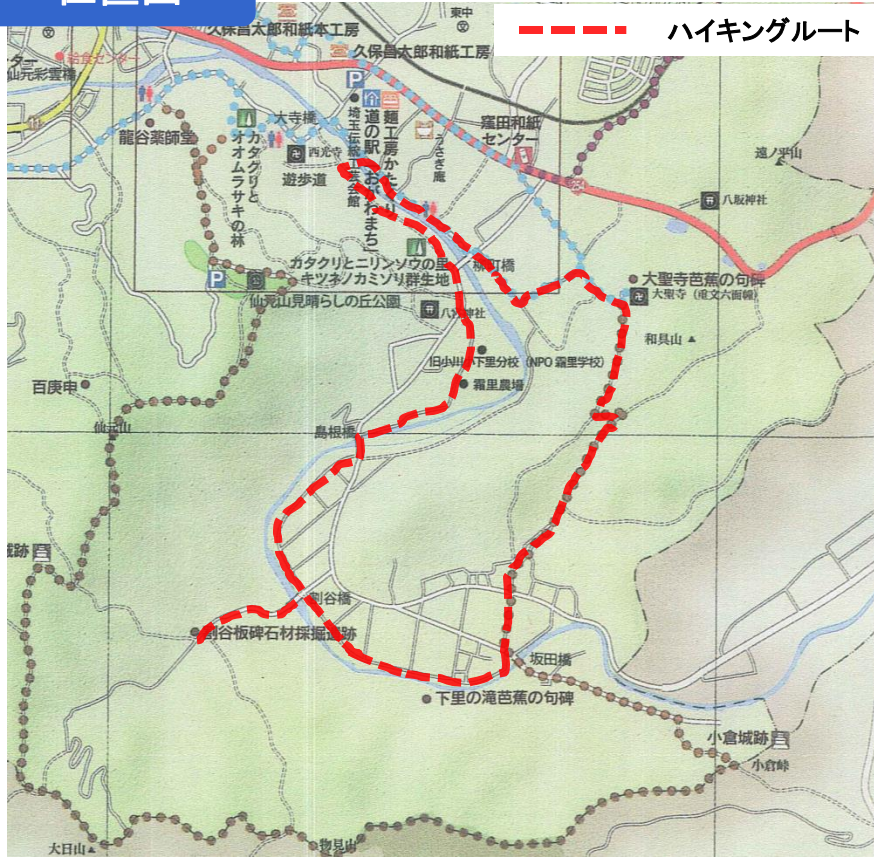
・民間施設の活力は観光振興に欠かせないものとなっており、和紙、地酒、建具といった伝統産業と融合させた観光振興を目指す必要がある。

・小高い山々を持つ小川町は、都心からハイキングに訪れる観光客も多いため、駅から観光施設や商店にも誘導していくことや、恵まれた自然環境や伝統産業等との連携による集客が重要であり、安全で快適な遊歩道と観光施設を維持することも必要である。

市町村が取り組む事業等の概要

この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図



*イメージ図

ハード



ソフト



事業等の概要

ハード

- 進入路・駐車場の整備
 - ・ 進入路の拡幅及び舗装整備
 - ・ 駐車場の舗装整備
- 道標の設置
 - ・ ハイキングコースや近隣観光施設等への道標の設置
- ハイキングコースの整備
 - ・ 雑木の伐採
 - ・ コース整地

ソフト

- 観光の充実
 - ・ 旧下里分校を中心としたハイキングコース整備
 - ・ 有機農業体験
 - ・ 有機農産物収穫祭の開催
 - ・ 青石（重文）の里探索ツアー
- 情報発信
 - ・ 観光ガイドブックへの掲載
 - ・ SNS等の活用
 - ・ 町広報誌やHP、イベントでの啓発活動

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
進入路整備				●————●		5百万円
駐車場整備				●————●		2百万円
案内板設置			●————●			2百万円
ハイキングコース整備				●————●		3百万円

県に実施してほしい整備の概要

この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図

① ポイントBより上流を臨む

① ポイントAより上流を臨む

② ポイントBより下流を臨む

② ポイントAより対岸方面(旧下里分校)を臨む

③ ポイントAより下流を臨む

実施してほしい整備概要

- 河川敷・堤防の整備外（延長 約200m）
 - ・堤防上の舗装
 - ・遊歩道の設置
 - ・河川内への進入路の整備
 - ・対岸へつながる飛び石の設置
 - ・河川敷の雑木の伐採及び整地
 - ・河原を多目的に使用できる空間の整備
 - ・スロープ及び階段の整備

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
計画策定		●	●	●		—
河川敷・堤防の整備			●	●	●	